



令和5年度（令和4年度業務） 足立区立学童保育室指定管理者等 評価委員会評価結果資料

評価対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

1	さかえっこ学童保育室	P. 1
2	新田学園学童保育室	P. 5
3	新田学園第二学童保育室	P. 9
4	中島根学童保育室	P. 13
	業務評価シート【特記事項】詳細	P. 17

様式（第3条関係）

足立区立さかえっこ学童保育室 業務評価シート
（指定管理者：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）

【評価対象年度】 令和4年度 【自己評価】 令和5年11月24日 【評価委員会】 令和6年2月2日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点

水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目中項目		確認項目			
適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	施設の清掃等(施設の清潔さ) ◆日常清掃をしっかりと行い、衛生的な環境を保っているか	4 ×2	4 ×2	×2
	2	職員配置(シフト体制・配置数・資格・雇用形態等) ◆区の規定どおりの適切な人員配置をしているか	2 ×2	2 ×2	
	3	人材育成の取り組み(研修、本部との連携) ◆能力向上を図る研修等教育の実施や、業務手順の見直しを行っているか	5 ×2	5 ×2	
	指定管理者 記入欄	【アピールポイント】 人員配置については配置人数が不足している場合は、法人内から応援で補充する仕組みがある。			2.50
	指定管理者 記入欄	【改善すべき点・課題等】 『保育時間帯を通じて常勤の放課後児童支援員を1名以上配置している』という足立区の規定が、土曜育成等で応援の補充を行っても満たせないことがあった。			
	担当課 記入欄	【特記事項】 放課後児童支援員の未配置、配置人数の不足が多く見られ、国及び区の基準を満たしていないことは遺憾である。各種法令等を遵守されたい。			
	評価委員 記入欄	【評価すべき点・課題等】 職員配置基準を満たしていないことから、本項目については水準を下回ると評価せざるを得ない。			
	管理状況	施設の安全性は確保されているか(危機管理体制)		評価点	
			指定管理者	担当課	評価委員
4		施設・設備の安全性の確保 ◆設備の破損や老朽化などに注意し、定期的にチェックしているか	5 ×1	4 ×1	×1
5		防災への配慮 ◆防災責任者を決め防災マニュアルなどを策定しているか ◆防災・避難訓練(年2回以上)を行う等災害に備えているか	4 ×1	4 ×1	
6		防犯への配慮 ◆地域の不審者情報等に注意し、施設内外の異常の有無を確認しているか ◆施設の鍵管理マニュアルが遵守されているか	4 ×1	4 ×1	
7		登室、保育中、帰宅時の安全対策と事故対応 ◆緊急時に即応できる体制がとられているか ◆事故対応マニュアルが策定され、全職員に周知されているか	3 ×1	4 ×1	
指定管理者 記入欄		【アピールポイント】 施設設備の安全性についてチェックシートに従って点検確認を実施している。また破損等があった場合はすぐに区に連絡をしている。また、防災責任者を定め、防災マニュアルを作成している。防災・避難訓練は1年に4回以上実施している。災害時の緊急避難場所を1年間に複数回保護者に配布し周知徹底している。 Aメール・学校メールや、学校・地域から不審者情報があった場合、職員と児童で共有し、状況によっては保護者にお迎えに来てもらうことにしている。施設の鍵については管理マニュアルに沿って遵守している。 安全対策・事故対応については、マニュアルに沿って実施している。学校や事業所・東部事業本部と連携をとっている。登室のない児童に対しては、学校や保護者に連絡し、行方が分からなければ職員が探しにいき、少しでも早い安全確認をとっている。また、事故発生時は区・事務所に早急に連絡をとっている。令和4年度は安否不明が多く発生したが、区と連携し児童一人ひとりへの通達や保護者への文書を配布した。東部事業本部危機管理部では毎月全現場の事故報告を集約しており、他現場での事故内容や対応について情報を得ることができ、水平展開できるように仕組みを作っている。			4.00
指定管理者 記入欄		【改善すべき点・課題等】 防災に関しては児童と一緒に避難訓練を行うほか、職員のみでも実施しているが、実際に災害が起きた時に冷静に行動できるかが課題となる。また、施設内だけでなく、周辺地域の住人とのかかわりも重要となるが、連携をどう取っていくかは課題である。不審者対応に関しても同様と考える。登室の有無は連絡帳か電話連絡で確認を取っているが、連絡がなく休む児童があり、保護者との連携が課題となっている。また、同じ児童が複数回安否不明になったこともあり、保護者との連携の仕方を工夫する必要がある。			
担当課 記入欄		【特記事項】 施設設備の安全性については、職員一人ひとりに意識づけがされており、点検表を活用し徹底されている。また、防災・防犯についても地域の方々の協力を得ながら実施されており、今後も引き続き取り組んでいきたい。			
評価委員 記入欄		【評価すべき点・課題等】 施設設備、防犯、防災の取り組みは徹底されている。			

目A59 中項目		確認項目					
管理状況	法令等の遵守（倫理性も含む）	個人情報保護、労働基準法等は遵守されているか。		評価点			
				指定管理者	担当課	評価委員	
		8	個人情報保護の取り組み及び各種個人情報の管理 ◆内部規定の策定や研修の実施等により、個人情報保護を徹底しているか ◆情報セキュリティ対策は適切になされているか	2 ×2	3 ×2	×2	
		9	労働社会保険諸法令遵守の状況確認 ◆「労働条件審査主要チェックシート」の項目の確認 ◆ワークライフバランスに配慮した労働環境となっているか	3 ×2	3 ×2	×2	
		10	労働環境の状況確認 ◆直近2年間の「入社後3年以内離職率」の確認 ◆団体内の常勤職員が入社後3年以上定着できているか	3 ×2	3 ×2	×2	
		11	各種法令等の遵守 ◆研修の実施等により、コンプライアンスを徹底しているか	3 ×2	2 ×2	×2	
		指定記入欄 管理者	【アピールポイント】 産業医により心身の保持の体制も整っており、働きやすい職場づくりをめざしている。また、さかえっこ学童保育室においては、離職率も低く職員体制も安定している。				
		指定記入欄 担当者	【改善すべき点・課題等】 ①法人全体において長期に渡って働く人が少ない。 ②職員のライフステージに合わせた柔軟な働き方ができるよう改善に取り組む。 ③コンプライアンス研修を定期的に行い、各現場のコンプライアンス意識を高める。				
		指定記入欄 課長	【特記事項】 職員が定着するような環境を整備するとともに、職員全体が各種法令遵守に対する意識を徹底できるよう改善が必要である。				
		評価記入欄 委員	【評価すべき点・課題等】 個人情報の紛失もあり、職員配置基準を満たしていないことから、本項目については水準を下回ると評価せざるを得ない。メンター制度やエリアマネージャーとの面談を増やす機会を増やす等の改善に向けた取り組みを行っているとのことであるが、余裕のある人員配置により職員への負荷を減らし、職員定着につなげてもらいたい。				
		適切な財務運営・財産管理が行われているか		評価点			
				指定管理者	担当課	評価委員	
		12	計画的な管理経費の執行(安定的な運営) ◆委託料が計画的かつ適切に執行されているか	4 ×1	4 ×1	×1	
		13	現金や会計書類等の管理、経理処理 ◆帳簿等会計書類が整備され、現金・通帳類が適切に管理されているか ◆適正な経理処理が行われているか	5 ×1	5 ×1	×1	
		14	経理を担当する常勤の職員 ◆常勤の経理責任者が配置されているか	5 ×1	5 ×1	×1	
指定記入欄 管理者	【アピールポイント】 委託料や経理処理については現場での管理・執行し、事業本部チェックの後、本部総務チェック機能があり、適正管理している。現場では経理責任者を配置し、取扱いについてダブル又はトリプルチェックを実施している。						
指定記入欄 課長	【改善すべき点・課題等】						
指定記入欄 課長	【特記事項】 委託料については概ね計画的な執行がされている。経理については常勤の施設長・室リーダー（2名）による複数チェック体制が取られており、現金管理や会計処理も適切に実施されている。						
評価記入欄 委員	【評価すべき点・課題等】 概ね適切に処理されている。						

大項目		中項目		確認項目			
事業効果	事業的 確性	事業計画どおりのサービスが提供されているか		評価点			
				指定管理者	担当課	評価委員	
		15	日常生活の支援 ◆児童の健康管理、育成方針の作成、生活習慣が身に付けられる支援等が適切に行われているか	5 ×2	4 ×2		×2
		16	遊びの支援 ◆日常の遊び、行事、集団活動等の支援が適切に行われているか	5 ×2	4 ×2		
		17	おやつ提供 ◆おやつの内容、食育、安全衛生、アレルギー対策が適切に行われているか	5 ×2	3 ×2		
		18	配慮を必要とする児童への対応 ◆障がい等の種類・特性に応じた支援・対応・連携ができていないか ◆虐待を疑われる場合や、特別の支援を必要とする子どもへの支援・対応・連携が行われているか	5 ×2	5 ×2		
		19	職員間での保育情報の共有 ◆情報の交換及び送り・引継事項の徹底ができていないか	5 ×2	4 ×2		
		20	家庭(保護者)との連携 ◆連絡帳・おたより・保護者会・通信の交換等により、保護者との情報交換・連携ができていないか	5 ×2	4 ×2		
		21	地域・学校等との連携 ◆学校や地域と、情報交換・協力体制・行事の参加等により連携しているか	4 ×2	4 ×2		
				【アピールポイント】 登室時に受付で児童一人ずつ挨拶、体調及び連絡帳の確認をしており、変化等に速やかに気づくことができる。 日常の遊びや行事では職員が遊びの提供をするとともに、児童がやりたい遊びを積極的に取り入れるようにしている。遊具や本などは児童からのリクエストの中から購入する機会を設けている。おやつは果物や野菜を使用したもの、軽食に近いものも提供している。なお、提供する職員対象者は1ヶ月に一度検便検査を実施している。全国本部の管理栄養士が巡回し、安全衛生やおやつ等栄養についてのアドバイスを受けている。また、アレルギーマニュアルに沿って運営している。児童のアレルギー物質をキッチン内に掲示し、基本的にはそのようなお菓子を購入せず、毎日提供前に成分表のダブルチェックをし、おやつチェックシートに記録をしている。賞味期限についても同様にチェックしている。 配慮を必要とする児童の特性を理解し、個別に対応している。一人になりたい時は職員スペースで過ごしたり、その児童専用の遊具を用意することもある。毎日児童が登室する前のミーティングと、週に2回の現場会議で職員間の情報共有をし、連絡帳やおたより以外でお迎えに来た保護者と児童の様子や気になることを話している。 学校との連携ではお便りの交換など児童について共有している。特に新年度の前には学童に通う児童の情報や、学校との関わり方について共有している。ほかにも、地域の町内会に加入している。おやつに地域の商店街で購入した食品を利用するとともに、お店の情報を児童や保護者におたより等で知らせている。			4.00
		【改善すべき点・課題等】 学校との連携について、小学校から離れた場所にあるため、学校の先生方と情報交換ができない日もある。また、複数の小学校から児童が登室するため、複数の小学校との連携が課題となっている。以前は各小学校の運動会や音楽会等に参加させていただいていたが、コロナ禍の影響で、学校行事への参加も難しくなっている。					
		【特記事項】 行事等の活動で、企画段階から児童の意見を反映させる機会を設けるなど、児童一人ひとりそれぞれの状況に応じて主体的に運営に関わるよう配慮や工夫が見られた。コロナ禍ではあったが、感染対策のもと行事が多く実施されていた。					
		【評価すべき点・課題等】 地域の町内会への加入や、学校とお便りの交換等の取り組みは評価できる。先生方と情報交換できない日もあるという点は、人員配置の不足のためでもあったのではないかと評価されている。					

大項目		中項目	確認項目				
事業効果	利用者の満足度（アンケート調査による）	利用者の満足度を得られているか	評価点				
			指定管理者	担当課	評価委員		
			22	遊び・おやつ・生活等の工夫 ◆遊びの内容に子ども達の意見が反映されているか ◆おやつメニューについて満足しているか ◆学童生活を通して社会性が身に付くよう保育がされているか	4 ×2	4 ×2	×2 4.00
			23	児童への接し方や保護者への説明と連携 ◆子どもの気持ちを受け止め、子どもに合わせた保育をしているか ◆子どもの様子について保護者と職員で情報共有ができているか ◆職員の態度や言葉づかいに満足しているか	4 ×2	4 ×2	
			24	保育環境の整備 ◆ケガや発熱時の処置や保護者への連絡体制は十分に取られているか ◆災害時の避難・連絡体制は十分に取られているか ◆室内は整理整頓されているか	4 ×2	4 ×2	
			25	個人情報保護体制 ◆個人情報保護規定の明示・遵守、利用目的の明示	4 ×2	4 ×2	
		26	相談および苦情の対応 ◆保護者の相談や意見を受け止め、丁寧に対応しているか ◆学童保育室以外の相談先が保護者に周知されているか	4 ×2	4 ×2		
		指定管理者	【アピールポイント】 令和4年度におこなった保護者アンケートでは全12項目中、「はい」が70%以上が2項目、80%以上が6項目、90%以上が4項目という結果だった。 【改善すべき点・課題等】 保護者アンケートで「いいえ」という回答が、「社会性が身に付く保育」と「現場以外の相談・苦情窓口の周知」の2項目であった。社会性が身に付く保育については、子ども同士で意見を言い合える機会をつくる事で社会性を身に付けてもらいたい。子ども達が意見を出し、子ども達で決める子ども会議の機会を増やしたい。相談・苦情窓口については、入室説明会だけではなく、3～4ヶ月に一度お手紙を保護者に渡すことで情報の発信機会を増やす。 【特記事項】 アンケート調査では全ての項目で概ね高い数値が出ており、利用者満足度の高さがうかがえる。				
		担当課	【評価すべき点・課題等】 アンケート調査の結果は概ね高い評価を得ており、利用者の満足度は高い。				
		評価委員					

特記事項（評価委員会による総合評価を記入） 不適正な職員配置があったことは大変遺憾である（不適正の内容は別添「業務評価シート【特記事項】詳細」のとおり。）。評価結果からランクダウンとする措置の適用も含めて検討したが、利用者からの評価が高いこと等を考慮した結果、今回の総合評価は下記のとおりとした。人員不足に対する法人全体としての取り組みやコンプライアンス意識の徹底等を通じて、今後の再発防止を強く求めるものである。

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員	50	30	45点以上	42点以上 44点以下	38点以上 41点以下	34点以上 37点以下	30点以上 33点以下	28点以上 29点以下	27点以下
区担当課 指定管理者	225	135	203点以上	187点以上 202点以下	169点以上 186点以下	151点以上 168点以下	133点以上 150点以下	122点以上 132点以下	121点以下
得点率			90%以上	83%を超え 90%未満	75%以上 83%以下	67%以上 75%未満	59%を超え 67%未満	54%を超え 59%以下	54%以下

※「標準点」・・・評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

評価結果	評価委員		ランクダウン	総合評価
	得点	評価		
	34	B+		

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
182	A-	170	A-

【指定管理者への改善要望】

- ・不適正な職員配置について、再発防止の具体策について報告されたい。
- ・積極的な職員の採用はもちろんのこと、職員が定着できるよう工夫されたい。
- ・現場に対する本部の統制が取れていないため、意識改革を徹底されたい。

様式（第3条関係）

足立区立新田学園学童保育室 業務評価シート
（指定管理者：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）

【評価対象年度】 令和4年度 【自己評価】 令和5年11月24日 【評価委員会】 令和6年2月2日
 【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
 水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目		中項目	確認項目		
適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	施設の清掃等(施設の清潔さ) ◆日常清掃をしっかりと行い、衛生的な環境を保っているか	5 ×2	4 ×2	×2 2.50
	2	職員配置(シフト体制・配置数・資格・雇用形態等) ◆区の規定どおりの適切な人員配置をしているか	2 ×2	2 ×2	
	3	人材育成の取り組み(研修、本部との連携) ◆能力向上を図る研修等教育の実施や、業務手順の見直しを行っているか	4 ×2	5 ×2	
	指定 記入 管理者	【アピールポイント】 人員配置については配置人数が不足している場合は、法人内から応援で補充する仕組みがある。			
		【改善すべき点・課題等】 区の仕様である『保育時間帯を通じて常勤の放課後児童支援員を1名以上配置している』という規定があるが、土曜育成等で応援の補充を行っても満たせないことがあった。			
	担当 記入 課	【特記事項】 放課後児童支援員の未配置、配置人数の不足が多く見られ、国及び区の基準を満たしていないことは遺憾である。各種法令等を遵守されたい。			
	評価 記入 委員	【評価すべき点・課題等】 職員配置基準を満たしていないことから、本項目については水準を下回ると評価せざるを得ない。			
	管理状況	施設の安全性は確保されているか（危機管理体制）		評価点	
			指定管理者	担当課	評価委員
4		施設・設備の安全性の確保 ◆設備の破損や老朽化などに注意し、定期的にチェックしているか	4 ×1	3 ×1	×1 4.00
5		防災への配慮 ◆防災責任者を決め防災マニュアルなどを策定しているか ◆防災・避難訓練(年2回以上)を行う等災害に備えているか	5 ×1	4 ×1	
6		防犯への配慮 ◆地域の不審者情報等に注意し、施設内外の異常の有無を確認しているか ◆施設の鍵管理マニュアルが遵守されているか	4 ×1	5 ×1	
7		登室、保育中、帰宅時の安全対策と事故対応 ◆緊急時に即応できる体制がとられているか ◆事故対応マニュアルが策定され、全職員に周知されているか	4 ×1	5 ×1	
指定 記入 管理者		【アピールポイント】 年3回の防災・避難訓練を実施した。地理的特性として水害に対する訓練を中学校の協力の下で行っている。登室、帰宅の経路（通学路）の实地確認を行い、危険箇所や緊急時の逃げ込む場所について繰り返し子どもに説明を行っている。また外遊びの時などの危険な場所についても職員、児童と確認を行っている。			
		【改善すべき点・課題等】 防犯に関してふれあいポリスの方の協力で研修や訓練を企画していたが開催できておらず、持ち越しとなっている。保育室内外の危険な場所をリスト化していく。			
担当 記入 課		【特記事項】 施設・設備の安全性の確保については、点検表を整備したうえで安全対策を適切に行っていく必要がある。防災訓練に荒川の氾濫を想定した訓練を導入しており、防災意識を高めるための工夫が施されている。また、緊急時の対応がフローチャート化されており、職員全員にも周知徹底されている。危機管理マニュアルのもと防災・防犯に対する意識づけもされている。			
評価 記入 委員		【評価すべき点・課題等】 防犯上、危険な箇所を確認して児童に知らせていることや、子ども110番の開拓も計画するなど、積極的な取り組みがある。			

目A59 中項目		確認項目			
法令等の遵守 (倫理性も含む)	個人情報保護、労働基準法等は遵守されているか。		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	8	個人情報保護の取り組み及び各種個人情報の管理 ◆内部規定の策定や研修の実施等により、個人情報保護を徹底しているか ◆情報セキュリティ対策は適切になされているか	5 ×2	4 ×2	×2 2.50
	9	労働社会保険諸法令遵守の状況確認 ◆「労働条件審査主要チェックシート」の項目の確認 ◆ワークライフバランスに配慮した労働環境となっているか	3 ×2	3 ×2	
	10	労働環境の状況確認 ◆直近2年間の「入社後3年以内離職率」の確認 ◆団体内の常勤職員が入社後3年以上定着できているか	3 ×2	3 ×2	
	11	各種法令等の遵守 ◆研修の実施等により、コンプライアンスを徹底しているか	3 ×2	2 ×2	
	指定記入欄 記入欄	【アピールポイント】 産業医により心身の保持の体制も整っており、働きやすい職場づくりをめざしている。また、新田学園 児童保育室においては、離職率も低く職員体制も安定している。			
		【改善すべき点・課題等】 ①法人全体において長期に渡って働く人が少ない。 ②職員のライフステージに合わせた柔軟な働き方ができるよう改善に取り組む。 ③コンプライアンス研修を定期的に行い、各現場のコンプライアンス意識を高める。			
	担当記入欄 記入欄	【特記事項】 職員が定着するような環境を整備するとともに、職員全体が各種法令遵守に対する意識を徹底できるよ う改善が必要である。			
	評価記入欄 記入欄	【評価すべき点・課題等】 職員配置基準を満たしていないことから、本項目については水準を下回ると評価せざるを得ない。メンター制度や エリアマネージャーとの面談を増やす機会を増やす等の改善に向けた取り組みを行っているとのことであるが、余裕 のある人員配置により職員への負荷を減らし、職員定着につなげてもらいたい。			
	適切な財務・ 財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか		評価点	
			指定管理者	担当課	評価委員
12		計画的な管理経費の執行(安定的な運営) ◆委託料が計画的かつ適切に執行されているか	4 ×1	4 ×1	×1 4.50
13		現金や会計書類等の管理、経理処理 ◆帳簿等会計書類が整備され、現金・通帳類が適切に管理されているか ◆適正な経理処理が行われているか	5 ×1	5 ×1	
14		経理を担当する常勤の職員 ◆常勤の経理責任者が配置されているか	5 ×1	5 ×1	
指定記入欄 記入欄		【アピールポイント】 予算と実績を毎月でまとめて確認をしている。出納処理は複数人での確認を行い、最終的チェックは事 業本部での確認としている。			
	【改善すべき点・課題等】 年度予算に関して、人件費以外の予算の組み立てについて全職員の理解が十分でない。検討、協議の場 を設ける必要がある。				
担当記入欄 記入欄	【特記事項】 委託料については概ね計画的な執行がされている。経理については常勤の施設長・室リーダー(2名) による複数チェック体制が取られており、現金管理や会計処理も適切に実施されている。				
評価記入欄 記入欄	【評価すべき点・課題等】 概ね適切に処理されている。				

大項目		中項目			確認項目			
事業効果	事業的 確性	事業計画どおりのサービスが提供されているか			評価点			
					指定管理者	担当課	評価委員	
		15	日常生活の支援 ◆児童の健康管理、育成方針の作成、生活習慣が身に付けられる支援等が適切に行われているか	5	5	×2	×2	4.00
		16	遊びの支援 ◆日常の遊び、行事、集団活動等の支援が適切に行われているか	5	4	×2	×2	
		17	おやつ提供 ◆おやつの内容、食育、安全衛生、アレルギー対策が適切に行われているか	5	5	×2	×2	
		18	配慮を必要とする児童への対応 ◆障がい等の種類・特性に応じた支援・対応・連携ができているか ◆虐待を疑われる場合や、特別の支援を必要とする子どもへの支援・対応・連携が行われているか	5	5	×2	×2	
		19	職員間での保育情報の共有 ◆情報の交換及び送り・引継事項の徹底ができているか	5	5	×2	×2	
		20	家庭(保護者)との連携 ◆連絡帳・おたより・保護者会・通信の交換等により、保護者との情報交換・連携ができているか	4	3	×2	×2	
		21	地域・学校等との連携 ◆学校や地域と、情報交換・協力体制・行事の参加等により連携しているか	4	5	×2	×2	
		指定 管理 者	【アピールポイント】 家庭、学校とは違う放課後の子どもの生活を自立的成長の場（居場所）として整えることに重点を置き、極力大人の介入を避ける支援をしている。その中で時間の管理や子どもが作ったルールへの遵守への支援を行っている。よって、家庭では見られないような子どもの姿をおたよりや連絡帳、またお迎え時などの機会に伝えるようにしている。そのためには職員間の情報共有が必要であり、こまめな会議やミーティングを行っている。それらは、支援に必要なチームワークも高められていると思われる。					
担 当 課	【改善すべき点・課題等】 これからは保護者とのコミュニケーション方法の充実を図り保護者との信頼関係を高め、一体となって育成にあたりたい。さらには、学校や地域との連携を活発化し、密な関係を構築し、地域の福利に貢献したい。							
評 価 委 員	【特記事項】 学童保育の場で子どもたちが主体的に時間管理や行事計画を実施し、子どもたちが日常生活の中で社会性を身につけていくための支援が適切に行われている。 それらの活動を保護者の方に対してもさらに発信し、保護者との連携を深めていただきたい。							
	【評価すべき点・課題等】 アレルギー対応や学校・地域との連携については、確実な取り組みをしている。保護者とのコミュニケーション方法の充実が今後の課題とされているが、職員配置の不足も原因としてあったのではないかと。							

大項目		中項目		確認項目		
事業効果	利用者の満足度（アンケート調査による）	利用者の満足を得られているか		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		22	遊び・おやつ・生活等の工夫 ◆遊びの内容に子ども達の意見が反映されているか ◆おやつメニューについて満足しているか ◆学童生活を通して社会性が身に付くよう保育がされているか	5	4	×2
		23	児童への接し方や保護者への説明と連携 ◆子どもの気持ちを受け止め、子どもに合わせた保育をしているか ◆子どもの様子について保護者と職員で情報共有ができているか ◆職員の態度や言葉づかいに満足しているか	4	4	×2
		24	保育環境の整備 ◆ケガや発熱時の処置や保護者への連絡体制は十分に取られているか ◆災害時の避難・連絡体制は十分に取られているか ◆室内は整理整頓されているか	4	4	×2
		25	個人情報保護体制 ◆個人情報保護規定の明示・遵守、利用目的の明示	4	4	×2
		26	相談および苦情の対応 ◆保護者の相談や意見を受け止め、丁寧に対応しているか ◆学童保育室以外の相談先が保護者に周知されているか	4	4	×2
			指定管理者 【アピールポイント】 令和4年度は、強いアレルギーを持つ子どもはおらず、提供するおやつへの制限はあまりないが、まだ感染症対策の関係上、手作りなどのイベントが限られていた。高学年の利用者が多い当学童では子どもの参加による手作りおやつやイベントおやつを行っている。「食」に直接関わることで関心や興味を持ってもらう支援を行っている。幸いに特筆すべき事故やトラブルはないが、事例情報をもとに事故への意識を怠らないように情報の共有を適宜行っている。 【改善すべき点・課題等】 上記の通り大きな事故等の経験が少ないことで、職員の対応力が未知数である。予防的な訓練を行う必要がある。 担当課 【特記事項】 アンケート調査では全ての項目で概ね高い数値が出ており、利用者満足度の高さがうかがえる。 評価委員 【評価すべき点・課題等】 アンケート調査の結果は概ね高い評価を得ており、利用者の満足度は高い。	4.00		

特記事項（評価委員会による総合評価を記入） 不適正な職員配置があったことは大変遺憾である（不適正の内容は別添「業務評価シート【特記事項】詳細」とおり）。評価結果からランクダウンとする措置の適用も含めて検討したが、利用者からの評価が高いこと等を考慮した結果、今回の総合評価は下記のとおりとした。人員不足に対する法人全体としての取り組みやコンプライアンス意識の徹底等を通じて、今後の再発防止を強く求めるものである。

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員	50	30	45点以上	42点以上 44点以下	38点以上 41点以下	34点以上 37点以下	30点以上 33点以下	28点以上 29点以下	27点以下
区担当課 指定管理者	225	135	203点以上	187点以上 202点以下	169点以上 186点以下	151点以上 168点以下	133点以上 150点以下	122点以上 132点以下	121点以下
得点率			90%以上	83%を超え 90%未満	75%以上 83%以下	67%以上 75%未満	59%を超え 67%未満	54%を超え 59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

評価結果	評価委員		ランクダウン	総合評価
	得点	評価		
	34	B+		

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

（参考）

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
189	A	181	A-

【指定管理者への改善要望】
 ・不適正な職員配置について、再発防止の具体策について報告されたい。
 ・積極的な職員の採用はもちろんのこと、職員が定着できるよう工夫されたい。
 ・現場に対する本部の統制が取れていないため、意識改革を徹底されたい。

様式（第3条関係）

足立区立新田学園第二学童保育室 業務評価シート
（指定管理者：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）

【評価対象年度】 令和4年度 【自己評価】 令和5年11月24日 【評価委員会】 令和6年2月2日
 【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点
 水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目中項目		確認項目			
適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	施設の清掃等(施設の清潔さ) ◆日常清掃をしっかりと行い、衛生的な環境を保っているか	5 ×2	5 ×2	×2
	2	職員配置(シフト体制・配置数・資格・雇用形態等) ◆区の規定どおりの適切な人員配置をしているか	1 ×2	1 ×2	
	3	人材育成の取り組み(研修、本部との連携) ◆能力向上を図る研修等教育の実施や、業務手順の見直しを行っているか	5 ×2	5 ×2	
	指定 記入 管理 入 欄 者	【アピールポイント】 職員の資格取得を積極的に行っており、令和4年度は新たに1名が放課後児童支援員を取得した。		1.50	
		【改善すべき点・課題等】 適正な人員配置を行う。			
	担 当 課 入 欄	【特記事項】 放課後児童支援員の未配置、配置人数の不足が多く見られ、国及び区の基準を満たしていないことは遺憾である。各種法令等を遵守されたい。			
	評 価 委 員 入 欄	【評価すべき点・課題等】 職員配置基準を満たしていないことから、本項目については水準を下回ると評価せざるを得ない。			
	管理状況	施設の安全性は確保されているか（危機管理体制）		評価点	
			指定管理者	担当課	評価委員
4		施設・設備の安全性の確保 ◆設備の破損や老朽化などに注意し、定期的にチェックしているか	5 ×1	3 ×1	×1
5		防災への配慮 ◆防災責任者を決め防災マニュアルなどを策定しているか ◆防災・避難訓練(年2回以上)を行う等災害に備えているか	5 ×1	5 ×1	
6		防犯への配慮 ◆地域の不審者情報等に注意し、施設内外の異常の有無を確認しているか ◆施設の鍵管理マニュアルが遵守されているか	4 ×1	5 ×1	
7		登室、保育中、帰宅時の安全対策と事故対応 ◆緊急時に即応できる体制がとられているか ◆事故対応マニュアルが策定され、全職員に周知されているか	4 ×1	4 ×1	4.00
指定 記入 管理 入 欄 者		【アピールポイント】 毎月防災訓練を実施している。様々なシチュエーション（場所・時間・気候）を想定して実施できるようミーティングで話し合い実施した。東日本大震災関連の絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、実践の訓練だけでなく、実際に起きた事例を用いて子どもたち自身が考える訓練も行っている。事故対応に関しては、壁面に緊急時の対応方法や病院の連絡先などを掲示し、全職員がすぐに対応出来るよう周知している。また、子どもたち自身にも防犯力を高めてもらうために学童保育室の玄関に『い・か・の・お・す・し』のポスターを貼りだしたり、防犯ブザーの点検を促したり、登室・降室時の安全対策について話をしている。			
		【改善すべき点・課題等】 保育中の遊具や机の置き場所が定められた所に片付けられていない時があった。保育室内外の危険な場所や安全な場所、安全な動線を全職員で再確認し、安全な場所に物を置く習慣を身に付ける。写真を活用してどこが危険なのか、どういう状態が安全なのかを一目でわかるようにする。学童で過ごす場所だけではなく登室・降室時に使用する道路を職員も実際に歩いてみて、地域の安全な場所、危険な場所を職員が把握し児童と共有できるようにする。			
担 当 課 入 欄		【特記事項】 施設・設備の安全性の確保については、点検表を整備したうえで安全対策を適切に行っていく必要がある。防災については、毎月防災訓練を実施しているだけでなく、子どもたちが主体的に動くよう、より実践的な訓練を実施しており、防災の意識が高い。			
評 価 委 員 入 欄		【評価すべき点・課題等】 施設・設備の安全点検については、所管課の指摘のとおり実施されたい。防災対策については、高い意識で取り組まれている。			

目A59 中項目		確認項目					
管理状況	法令等の遵守（倫理性も含む）	個人情報保護、労働基準法等は遵守されているか。		評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員		
		8	個人情報保護の取り組み及び各種個人情報の管理 ◆内部規定の策定や研修の実施等により、個人情報保護を徹底しているか ◆情報セキュリティ対策は適切になされているか	5 ×2	4 ×2	×2	
		9	労働社会保険諸法令遵守の状況確認 ◆「労働条件審査主要チェックシート」の項目の確認 ◆ワークライフバランスに配慮した労働環境となっているか	3 ×2	3 ×2	×2	
		10	労働環境の状況確認 ◆直近2年間の「入社後3年以内離職率」の確認 ◆団体内の常勤職員が入社後3年以上定着できているか	3 ×2	3 ×2	×2	
		11	各種法令等の遵守 ◆研修の実施等により、コンプライアンスを徹底しているか	3 ×2	2 ×2	×2	
		指定記入欄 担当者	【アピールポイント】 産業医により心身の保持の体制も整っており、働きやすい職場づくりをめざしている。				
		指定記入欄 担当者	【改善すべき点・課題等】 ①法人全体において長期に渡って働く人が少ない。 ②職員のライフステージに合わせた柔軟な働き方ができるよう改善に取り組む。 ③コンプライアンス研修を定期的に行い、各現場のコンプライアンス意識を高める。				
		担当記入欄 課長	【特記事項】 職員が定着するような環境を整備するとともに、職員全体が各種法令遵守に対する意識を徹底できるよう改善が必要である。				
		評価記入欄 委員	【評価すべき点・課題等】 職員配置基準を満たしていないことから、本項目については水準を下回ると評価せざるを得ない。メンター制度やエリアマネージャーとの面談を増やす機会を増やす等の改善に向けた取り組みを行っているとのことであるが、余裕のある人員配置により職員への負荷を減らし、職員定着につなげてもらいたい。				
					2.50		
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか		評価点			
		指定管理者	担当課	評価委員			
12		計画的な管理経費の執行(安定的な運営) ◆委託料が計画的かつ適切に執行されているか	4 ×1	4 ×1	×1		
13		現金や会計書類等の管理、経理処理 ◆帳簿等会計書類が整備され、現金・通帳類が適切に管理されているか ◆適正な経理処理が行われているか	5 ×1	5 ×1	×1		
14		経理を担当する常勤の職員 ◆常勤の経理責任者が配置されているか	5 ×1	5 ×1	×1		
		指定記入欄 担当者	【アピールポイント】 経理担当者と責任者の2名で小口金庫の管理を行い、現金の確認は必ず2名で確認している。月末には金種別残高表を作成し、本部の経理担当者のチェックが行われている。また半期に1回(毎年度9月末日・3月末日)小口金庫の現金を全て預金口座に移動し、「小口金庫0円」に法人全体で取り組み、債務運営の透明性を図っている。購入品のレシートを台帳に記入し予算との比較を行いながら管理している。ほかにも、毎月予算の実績を作成して職員全体に経営状況を共有している。				
	指定記入欄 担当者	【改善すべき点・課題等】 副食費、教材費において、在籍人数や毎月の残高を記録し計画的に委託運営ができるように努めていく。また物価高騰やイベントでの出費等を鑑み、数字を見える化し安定的な運営に繋げる。					
	担当記入欄 課長	【特記事項】 委託料については概ね計画的な執行がされている。経理については常勤の施設長・室リーダー（2名）による複数チェック体制が取られており、現金管理や会計処理も適切に実施されている。					
	評価記入欄 委員	【評価すべき点・課題等】 概ね適切に処理されている。					
				4.50			

大項目		中項目		確認項目			
事業効果	事業の確性	事業計画どおりのサービスが提供されているか		評価点			
				指定管理者	担当課	評価委員	
		15	日常生活の支援 ◆児童の健康管理、育成方針の作成、生活習慣が身に付けられる支援等が適切に行われているか	4 ×2	5 ×2		×2
		16	遊びの支援 ◆日常の遊び、行事、集団活動等の支援が適切に行われているか	4 ×2	4 ×2		
		17	おやつ提供 ◆おやつの内容、食育、安全衛生、アレルギー対策が適切に行われているか	5 ×2	5 ×2		
		18	配慮を必要とする児童への対応 ◆障がい等の種類・特性に応じた支援・対応・連携ができているか ◆虐待を疑われる場合や、特別の支援を必要とする子どもへの支援・対応・連携が行われているか	5 ×2	4 ×2		
		19	職員間での保育情報の共有 ◆情報の交換及び申送り・引継事項の徹底ができているか	4 ×2	4 ×2		
		20	家庭(保護者)との連携 ◆連絡帳・おたより・保護者会・通信の交換等により、保護者との情報交換・連携ができているか	4 ×2	3 ×2		
		21	地域・学校等との連携 ◆学校や地域と、情報交換・協力体制・行事の参加等により連携しているか	4 ×2	5 ×2		
							3.75
	指定管理入欄者	<p>【アピールポイント】 毎月数回近隣の商店街で購入したおやつを提供し、地域連携を図っている。児童の育成について、毎日の職員ミーティングで情報を共有している。お迎えの保護者の方には、その日の様子などをお伝えし、一人帰りの保護者の方とは連絡帳やおたよりで日頃の様子をやり取りし、信頼関係の構築を図っている。令和4年度は、重度の食物アレルギーのある児童、愛の手帳を保有している児童、支援学級に通っている児童等配慮を必要とする児童を7名受け入れ、大きな事故、トラブルなく過ごした。また、遊びの支援を行うことで、学年性別の枠を超えて児童一人ひとりが「ここが自分の居場所」と実感できる学童運営を行ってきた。</p>					
	担当入欄者	<p>【改善すべき点・課題等】 保育室が1階と2階に分かれていることから職員間の共有がより一層必要となる。そのため毎日のミーティングは必要不可欠となり、職員間のコミュニケーションが大切となる。児童一人ひとりにあった対応ができるよう職員のチームワークをしっかりと作り、一人ひとりの意識の向上と保育の質の向上に努めていく。地域や学校との連携に努め、一緒に見守り、一人ひとりに寄り添い支援していく。</p>					
	担当入欄者	<p>【特記事項】 在籍児童が大所帯の中、職員同士や学校・地域と連携しながら、児童の健康管理、安全管理が適切に行われている。また行事についても児童が主体的に企画し、実施するなどの工夫も見られる。食材の購入についても地域の商店街を利用し、商店街との良好な関係を築いている。</p>					
	評価委員入欄	<p>【評価すべき点・課題等】 3室の学童保育室であり児童数が多いので、きめ細かいミーティングや保護者会を有効に活用してコミュニケーションを取っていただきたい。</p>					

大項目	中項目	確認項目
-----	-----	------

事業効果	利用者の満足度（アンケート調査による）	利用者の満足を得られているか	評価点										
			指定管理者	担当課	評価委員								
22	遊び・おやつ・生活等の工夫 ◆遊びの内容に子ども達の意見が反映されているか ◆おやつメニューについて満足しているか ◆学童生活を通して社会性が身に付くよう保育がされているか	22	4	3	×2								
			×2	×2									
			23	児童への接し方や保護者への説明と連携 ◆子どもの気持ちを受け止め、子どもに合わせた保育をしているか ◆子どもの様子について保護者と職員で情報共有ができているか ◆職員の態度や言葉づかいに満足しているか		23	4	4	×2				
							×2	×2					
							24	保育環境の整備 ◆ケガや発熱時の処置や保護者への連絡体制は十分に取られているか ◆災害時の避難・連絡体制は十分に取られているか ◆室内は整理整頓されているか		24	4	4	×2
											×2	×2	
25	個人情報保護体制 ◆個人情報保護規定の明示・遵守、利用目的の明示	25			4						4	×2	
					×2						×2		
			26	相談および苦情の対応 ◆保護者の相談や意見を受け止め、丁寧に対応しているか ◆学童保育室以外の相談先が保護者に周知されているか	26	4			3		×2		
						×2			×2				
						【アピールポイント】 毎日30分程度のミーティングを行い、前日の育成の振り返りや支援児、気になる児童、保護者への対応、情報共有を行っている。また、デリケートな案件については、職員全員で対応方法を検討し、方針を決める。現場で解決の糸口を見い出せない案件については、研修の際、他現場の職員と意見交換を行ったり、エリアマネージャーや事業本部に相談し対応している。 ①ミーティングで議論し尽くせない内容については月1回(毎月第2金曜日)の保育会議で検討している。 ②支援員1名が見える範囲には限りがあるため、職員同士が気づきを共有できるよう対話を大切にしている。 ③おやつメニューやおたよりの写真を増やすなど工夫し、子ども主体で夏祭りやハロウィンを実行した。							
						【改善すべき点・課題等】 ①毎年利用者アンケートにおいて、『学童保育室以外の相談先』の項目が常に低いため、入室説明会等で、アンケートの項目とリンクさせて説明していく。 ②校舎内のある2階の部屋の様子をどう伝えるかの工夫が必要と同時に学校の校舎内に入っていくため、学校との連携が必要になる。そのため、学校行事に参加させていただいたり、学童行事をお知らせすることで学校とのコミュニケーションを図っていくようにする。							
【特記事項】 アンケート調査では平均で水準を上回っており、利用者満足度の高さがうかがえる。													
【評価すべき点・課題等】 アンケート調査の結果は概ね高い評価を得ており、利用者の満足度は高い。													

3.75

特記事項(評価委員会による総合評価を記入) 不適正な職員配置があったことは大変遺憾である(不適正の内容は別添「業務評価シート【特記事項】詳細」のとおり。)。評価結果からランクダウンとする措置の適用も含めて検討したが、利用者からの評価が高いこと等を考慮した結果、今回の総合評価は下記のとおりとした。人員不足に対する法人全体としての取り組みやコンプライアンス意識の徹底等を通じて、今後の再発防止を強く求めるものである。

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員	50	30	45点以上	42点以上 44点以下	38点以上 41点以下	34点以上 37点以下	30点以上 33点以下	28点以上 29点以下	27点以下
区担当課 指定管理者	225	135	203点以上	187点以上 202点以下	169点以上 186点以下	151点以上 168点以下	133点以上 150点以下	122点以上 132点以下	121点以下
得点率			90%以上	83%を超え 90%未満	75%以上 83%以下	67%以上 75%未満	59%を超え 67%未満	54%を超え 59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

評価結果	評価委員		ランクダウン	総合評価
	得点	評価		
	31	B	無	B

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
182	A-	173	A-

【指定管理者への改善要望】
・不適正な職員配置について、再発防止の具体策について報告されたい。
・積極的な職員の採用はもちろんのこと、職員が定着できるよう工夫されたい。
・現場に対する本部の統制が取れていないため、意識改革を徹底されたい。

足立区立中島根学童保育室 業務評価シート
（指定管理者：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）

【評価対象年度】令和4年度 【自己評価】令和5年1月24日 【評価委員会】令和6年2月2日

【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点

水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目		中項目		確認項目		
適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
	1	施設の清掃等(施設の清潔さ) ◆日常清掃をしっかりと行い、衛生的な環境を保っているか	5 ×2	5 ×2	×2	
	2	職員配置(シフト体制・配置数・資格・雇用形態等) ◆区の規定どおりの適切な人員配置をしているか	2 ×2	2 ×2	×2	
	3	人材育成の取り組み(研修、本部との連携) ◆能力向上を図る研修等教育の実施や、業務手順の見直しを行っているか	5 ×2	5 ×2	×2	
	指定記入欄	【アピールポイント】 職員の資格取得を積極的に行っており、令和4年度は新たに1名が放課後児童支援員を取得した。			2.50	
	指定記入欄	【改善すべき点・課題等】 各学年の登室時間に合わせて適正な人員配置を行っていたが、今後は最初の児童が登室してくる時間までに適正な人員配置を行う。				
	担当記入欄	【特記事項】 一日保育日において、配置体制が満たせない日があった。急遽欠員が出た場合でも、補充ができるよう、余裕を持った配置体制となるよう見直しが必要である。				
	評価委員記入欄	【評価すべき点・課題等】 職員配置基準を満たしていないことから、本項目については水準を下回ると評価せざるを得ない。				
	管理状況	施設の安全性は確保されているか（危機管理体制）			評価点	
				指定管理者	担当課	評価委員
4		施設・設備の安全性の確保 ◆設備の破損や老朽化などに注意し、定期的にチェックしているか	4 ×1	4 ×1	×1	
5		防災への配慮 ◆防災責任者を決め防災マニュアルなどを策定しているか ◆防災・避難訓練(年2回以上)を行う等災害に備えているか	5 ×1	5 ×1	×1	
6		防犯への配慮 ◆地域の不審者情報等に注意し、施設内外の異常の有無を確認しているか ◆施設の鍵管理マニュアルが遵守されているか	4 ×1	5 ×1	×1	
7		登室、保育中、帰宅時の安全対策と事故対応 ◆緊急時に即応できる体制がとられているか ◆事故対応マニュアルが策定され、全職員に周知されているか	4 ×1	5 ×1	×1	
指定記入欄		【アピールポイント】 防災訓練・防犯訓練は毎月または隔月行っている。子どものみならず、職員対象の訓練も行い実践できるように日々話し合いを重ねながら意識の向上に努めた。また町会に加入し、地域の方や学校、パレットなど多くの繋がりをもち、地域ぐるみで学童を見守る体制があることが強みだと感じている。30分ルールの周知徹底、遅れなどを防ぐために複数箇所に掲示するとともに、日々の職員会議で事例とともに見直しと確認を行った。			4.50	
指定記入欄		【改善すべき点・課題等】 上記と同じように清掃箇所と点検箇所の詳細を記入する。地域の子ども110番の家や近所のお店などに挨拶に行き児童の安全の見守りの協力をお願いする。				
担当記入欄		【特記事項】 訓練を定期的に行っており、災害時の備えが十分にできている。また、地域の方々と連携を図りながら、地域ぐるみで子どもの安全安心を守る体制が整えられている。危機管理マニュアルも整備され、防災・防犯に対する意識の高さが伺える。				
評価委員記入欄		【評価すべき点・課題等】 近隣のコンビニとの連携など、他の学童保育室には見られない取り組みや工夫が行われていることは評価できる。				

目A59 中項目		確認項目						
管理状況	法令等の遵守（倫理性も含む）	個人情報保護、労働基準法等は遵守されているか。		評価点				
			指定管理者	担当課	評価委員			
		8	個人情報保護の取り組み及び各種個人情報の管理 ◆内部規定の策定や研修の実施等により、個人情報保護を徹底しているか ◆情報セキュリティ対策は適切になされているか	5 ×2	5 ×2	×2		
		9	労働社会保険諸法令遵守の状況確認 ◆「労働条件審査主要チェックシート」の項目の確認 ◆ワークライフバランスに配慮した労働環境となっているか	3 ×2	3 ×2	×2		
		10	労働環境の状況確認 ◆直近2年間の「入社後3年以内離職率」の確認 ◆団体内の常勤職員が入社後3年以上定着できているか	3 ×2	3 ×2	×2		
		11	各種法令等の遵守 ◆研修の実施等により、コンプライアンスを徹底しているか	3 ×2	2 ×2	2.50		
		指定記入欄 管理者	【アピールポイント】 産業医により心身の保持の体制も整っており、働きやすい職場づくりをめざしている。また、中島根学童保育室においては、離職率も低く職員体制も安定している。					
			【改善すべき点・課題等】 ①法人全体において長期に渡って働く人が少ない。 ②職員のライフステージに合わせた柔軟な働き方ができるよう改善に取り組む。 ③コンプライアンス研修を定期的に行い、各現場のコンプライアンス意識を高める。					
		担当記入欄 課	【特記事項】 職員が定着するような環境を整備するとともに、職員全体が各種法令遵守に対する意識を徹底できるよう改善が必要である。					
		評価記入欄 委員	【評価すべき点・課題等】 職員配置基準を満たしていないことから、本項目については水準を下回ると評価せざるを得ない。メンター制度やエリアマネージャーとの面談の機会を増やす等の改善に向けた取り組みを行っているとのことであるが、余裕のある人員配置により職員への負荷を減らし、職員定着につなげてもらいたい。					
		適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか		評価点			
				指定管理者	担当課	評価委員		
			12	計画的な管理経費の執行(安定的な運営) ◆委託料が計画的かつ適切に執行されているか	4 ×1	4 ×1	×1	
			13	現金や会計書類等の管理、経理処理 ◆帳簿等会計書類が整備され、現金・通帳類が適切に管理されているか ◆適正な経理処理が行われているか	5 ×1	5 ×1	×1	
			14	経理を担当する常勤の職員 ◆常勤の経理責任者が配置されているか	5 ×1	5 ×1	×1	
指定記入欄 管理者	【アピールポイント】 常勤職員が経理責任者を担っており、現場の金銭確認については必ず2名以上で都度行っている。経理管理は法人経理システムを使用し、本部経理担当者と共に経理管理を行いミスのないようにしている。							
	【改善すべき点・課題等】 委託料において事務費の支出が予算を超えてしまった。							
担当記入欄 課	【特記事項】 委託料については概ね計画的な執行がされている。経理については常勤の施設長・室リーダー（2名）による複数チェック体制が取られており、現金管理や会計処理も適切に実施されている。							
評価記入欄 委員	【評価すべき点・課題等】 概ね適切に処理されている。							
				4.50				

大項目		中項目		確認項目		
事業効果	事業の 的 確 性	事業計画どおりのサービスが提供されているか		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		15	日常生活の支援 ◆児童の健康管理、育成方針の作成、生活習慣が身に付けられる支援等が適切に行われているか	5 ×2	5 ×2	×2
		16	遊びの支援 ◆日常の遊び、行事、集団活動等の支援が適切に行われているか	5 ×2	4 ×2	
		17	おやつ提供 ◆おやつの内容、食育、安全衛生、アレルギー対策が適切に行われているか	5 ×2	4 ×2	
		18	配慮を必要とする児童への対応 ◆障がい等の種類・特性に応じた支援・対応・連携ができているか ◆虐待を疑われる場合や、特別の支援を必要とする子どもへの支援・対応・連携が行われているか	4 ×2	5 ×2	
		19	職員間での保育情報の共有 ◆情報の交換及び送り・引継事項の徹底ができているか	4 ×2	5 ×2	
		20	家庭(保護者)との連携 ◆連絡帳・おたより・保護者会・通信の交換等により、保護者との情報交換・連携ができているか	5 ×2	4 ×2	
		21	地域・学校等との連携 ◆学校や地域と、情報交換・協力体制・行事の参加等により連携しているか	5 ×2	5 ×2	
		指定 記入 欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>登室後、一人ひとり対面で受付をしている。帰る時間、降室方法、体調の変化や怪我の有無を子どもに伝えてもらい、保護者からの連絡帳の記載が無いかを子どもと一緒に確認をする。記載事項や体調、怪我があれば受付ノートに書き、連絡帳に体調や怪我の様子などをお伝えする。連絡帳の確認については、必ず複数で行い記載漏れや送り出しのミスがないようにしている。連絡帳やおたより、お迎え時にも子どもの様子や成長の情報共有を通じて保護者との関係づくりに努めている。年間の保育目標は職員全員で話し合い決めたものと、個人で決めたものがあり職員一人ひとりの役割を中心に考えてもらったことで目標に向かってモチベーションを上げることができ、職員全員で同じ意識で保育の質の向上ができた。その中でも毎日の打ち合わせや月に2回ほどの職員会議を必ず設け意見を出し合っている。</p> <p>職員の知り合いを招いて工作教室の開催や遊具の提供があったり、パレット・学校・近隣住民や店・町会などとの関係も良好で、パレットや学校の会議には学童も参加させていただいている。おやつや安全衛生は、本部の担当が巡回してくれるので、食物アレルギーもある児童に関する対応や食品衛生、安全管理などのアドバイスをいただいている。</p> <p>現在食物アレルギーを持つ児童の受け入れも行っているため、職員全員が共通認識できるように可視化して誤配などないよう工夫している。毎日おやつ記録を付け、メニュー、賞味期限、成分表の保管をしたり、アレルギー児には色や形状の違う容器とトレーで提供するなどして対応をしている。</p> <p>令和4年度は発達に課題がある児童の受け入れがあり、児童の特性を踏まえた上での保育が課題となった。定期的に保護者面談、毎日の連絡帳での情報交換を欠かさず行い、児童が集団の中で生活しやすい環境づくりや対応を整えることができた。学童と家庭で協力して保育をする、という良さを感じられた。</p>	4.25		
担当 記入 欄	<p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>育成日誌や申し送りノートなどの確認を毎日出勤した職員にはお願いをしていたが、確認印や会議の出席者・欠席者、フィードバックした日などの記載をしていなかったため、必ず記録に残す。</p>					
評価 委員 記入 欄	<p>【特記事項】</p> <p>遊びやおやつメニューを含め、日常生活の支援が行き届いており、児童が楽しんで登室する様子が伺えた。また、地域や学校との連携が密に取れており、地域全体で行事を実施するなど、地域や学校とも良好な関係を築いている。</p> <p>【評価すべき点・課題等】</p> <p>要配慮児への対応や、職員間での情報共有等が適切に行われている。地域・学校との連携も良好であり評価できる。</p>					

大項目		中項目		確認項目			
事業効果	利用者の満足度（アンケート調査による）	利用者の満足を得られているか		評価点			
				指定管理者	担当課	評価委員	
		22	遊び・おやつ・生活等の工夫 ◆遊びの内容に子ども達の意見が反映されているか ◆おやつメニューについて満足しているか ◆学童生活を通して社会性が身に付くよう保育がされているか	5	4	×2	×2
		23	児童への接し方や保護者への説明と連携 ◆子どもの気持ちを受け止め、子どもに合わせた保育をしているか ◆子どもの様子について保護者と職員で情報共有ができているか ◆職員の態度や言葉づかいに満足しているか	4	5	×2	×2
		24	保育環境の整備 ◆ケガや発熱時の処置や保護者への連絡体制は十分に取られているか ◆災害時の避難・連絡体制は十分に取られているか ◆室内は整理整頓されているか	5	4	×2	×2
		25	個人情報保護体制 ◆個人情報保護規定の明示・遵守、利用目的の明示	5	5	×2	×2
		26	相談および苦情の対応 ◆保護者の相談や意見を受け止め、丁寧に対応しているか ◆学童保育室以外の相談先が保護者に周知されているか	4	4	×2	×2
			【アピールポイント】 遊びやおやつに関しては、意見箱に投函してもらい子どもたちのニーズに応えられるようにした。手作りおやつ、工作教室などは特に人気で、おたよりに載せたりして家庭の話題になったり、学校やパレットの反応もありがたかった。先生やスタッフなどが学童の様子を見に来ることもあり交流を深めることができた。また、以前から課題になっている「学童保育室以外の相談先」については、おたよりや保護者会でお伝えしている。児童の係分担も今年度から実施してみることとした。発達支援児の受け入れで苦手なことや課題を持つ部分を特性を活かしてできないかと考え、切り替えが難しい児童には「時間お知らせ係」、じっと座っていることが苦手な児童には前に出て「あいさつ係」、整理整頓が苦手な児童は仲良しさんとペアを組んでやり遂げる環境づくりなど工夫した。				
			【改善すべき点・課題等】 毎年のことだが、保護者アンケートにおける「相談や苦情の窓口についての周知」の評価が他の項目に比べて若干低くなってしまふ。今行っている対応に工夫を重ね周知して頂けるようにする（おたよりに載せている字を大きくする、保護者会でも配布するなど）。				
			【特記事項】 アンケート調査では全ての項目で概ね高い数値が出ており、利用者満足度の高さがうかがえる。				
	【評価すべき点・課題等】 アンケート調査の結果は概ね高い評価を得ており、利用者の満足度は高い。						
4.25							

特記事項（評価委員会による総合評価を記入） 不適正な職員配置があったことは大変遺憾である（不適正の内容は別添「業務評価シート【特記事項】詳細」のとおり。）。評価結果からランクダウンとする措置の適用も含めて検討したが、利用者からの評価が高いこと等を考慮した結果、今回の総合評価は下記のとおりとした。人員不足に対する法人全体としての取り組みやコンプライアンス意識の徹底等を通じて、今後の再発防止を強く求めるものである。

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員	50	30	45点以上	42点以上 44点以下	38点以上 41点以下	34点以上 37点以下	30点以上 33点以下	28点以上 29点以下	27点以下
区担当課 指定管理者	225	135	203点以上	187点以上 202点以下	169点以上 186点以下	151点以上 168点以下	133点以上 150点以下	122点以上 132点以下	121点以下
得点率			90%以上	83%を超え 90%未満	75%以上 83%以下	67%以上 75%未満	59%を超え 67%未満	54%を超え 59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	36	B+

ランクダウン
無

総合評価
B+

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

（参考）

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
195	A	191	A

【指定管理者への改善要望】
・不適正な職員配置について、再発防止の具体策について報告されたい。
・積極的な職員の採用はもちろんのこと、職員が定着できるよう工夫されたい。
・現場に対する本部の統制が取れていないため、意識改革を徹底されたい。

業務評価シート 【特記事項】 詳細

施設名	さかえっこ学童保育室、新田学園学童保育室、 新田学園第二学童保育室、中島根学童保育室																																			
大項目	管理状況	中項目	適切な管理の履行																																	
事業者名称	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団																																			
事件・事故の概要	学童保育室の運営事業者による不適正な職員配置																																			
発生日時	令和5年7月21日（金）																																			
区への報告日時	【第一報】 令和5年7月21日 【書 面】 令和5年8月4日（第一次報告）、8月31日（第二次報告）																																			
経過【時系列】 ・事故発生状況 ・区への報告状況 ・相手方、施設利用者等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年7月21日（金） 当該事業者から、他区において運営している学童保育室等の職員配置について、当該区に対し虚偽の報告を行っていたとの速報を受けた。 ・令和5年8月4日（金）第一次報告 当該事業者から、令和4年4月～令和5年6月の期間を対象に調査を行った結果、有資格者職員及び配置人数不足があった旨の調査報告書の提出を受けた。 ・令和5年8月8日（火） 新田学園及び新田学園第二学童保育室の保護者説明会を実施。 ・令和5年8月9日（水） さかえっこ学童保育室の保護者説明会を実施。 ・令和5年8月31日（木）第二次報告 職員配置について第一次報告では「問題なし」とされた学童保育室についても、配置できていなかったとの報告があり、全ての指定管理学童保育室において「問題あり」とされた。 																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">学童保育室名</th> <th colspan="2">第一次報告</th> <th colspan="2">第二次報告</th> </tr> <tr> <th>有資格者</th> <th>配置人数</th> <th>有資格者</th> <th>配置人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>新田学園第二学童保育室</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>さかえっこ学童保育室</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>新田学園学童保育室</td> <td style="text-align: center;">問題なし</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>中島根学童保育室</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">問題なし</td> <td style="text-align: center;">問題なし</td> <td style="text-align: center;">配置不足あり</td> </tr> </tbody> </table>	No	学童保育室名	第一次報告		第二次報告		有資格者	配置人数	有資格者	配置人数	1	新田学園第二学童保育室	配置不足あり	配置不足あり	配置不足あり	配置不足あり	2	さかえっこ学童保育室	配置不足あり	配置不足あり	配置不足あり	配置不足あり	3	新田学園学童保育室	問題なし	配置不足あり	配置不足あり	配置不足あり	4	中島根学童保育室	問題なし		問題なし	配置不足あり	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年9月28日（木） 中島根学童保育室の保護者説明会を実施。 ・令和5年12月28日（木）当該事業者から第三者委員会による調査結果報告 報告内容は1月24日開催の子ども・子育て対策調査特別委員会資料【追加】労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団からの第三者委員会報告及び区の自主点検結果について」とおり
No	学童保育室名			第一次報告		第二次報告																														
		有資格者	配置人数	有資格者	配置人数																															
1	新田学園第二学童保育室	配置不足あり	配置不足あり	配置不足あり	配置不足あり																															
2	さかえっこ学童保育室	配置不足あり	配置不足あり	配置不足あり	配置不足あり																															
3	新田学園学童保育室	問題なし	配置不足あり	配置不足あり	配置不足あり																															
4	中島根学童保育室	問題なし		問題なし	配置不足あり																															
①事業者による事件・事故の原因分析	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業者において、第三者委員会を設置し検証作業を行い、第三者委員会による調査報告書を受けて、令和5年12月28日付で法人としての原因分析や改善策等が公表された。法人としての原因の認識として挙げているのは以下のとおり。 ① 役員及び本部・事業本部・現場におけるコンプライアンスの意識の低さと体制不備 ② 本部による現場事業所の現状把握やサポートの不十分さ ③ 人員不足に対する法人全体としての取り組み不足 																																			
②事業者による再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> ・上述の令和5年12月28日付で公表された法人としての原因分析や改善策等において、再発防止策として挙げているのは以下のとおり。 ① 人員不足に対する法人全体の取り組み強化 ② コンプライアンス意識の徹底と内部管理体制の整備 ③ 組織全体の業務管理の見直し ④ 事業所・事業本部と本部機構改革 ⑤ 役員の処分 																																			

①、②について 区の確認状況	<p>【事業者説明日】 令和5年7月27日</p> <p>【説明方法】 (誰が/誰に対して/どのように) 田嶋羊子理事長 外2名/長谷川副区長 外 関係所管部課長/ 報告及びヒアリング</p> <p>【区対応】 ア 了承 イ 再発防止策の修正指示 ウ その他の是正・改善指示</p>	
(イ・ウの場合) 区の指示内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区から、当該事業者に対して早急に適正な職員配置を行なうよう指導した。 ・職員配置状況について書面による報告を提出するよう求めた。 ・本件の経緯と今後の対応等について保護者説明会を実施するよう指導した。 	
再発防止策の 実施状況 (是正・改善の 状況を含む)	<p>【実施済】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理学童保育室16か所を含め、区内の全学童保育室109か所を対象に職員配置状況についての自主点検を実施。 ・当該事業者が運営する指定管理学童保育室4か所及び民設学童保育室6か所を対象に職員配置状況についての現場確認を実施。 ・指定管理運営事業者からの調査報告を受け、保育時間帯ごとの配置人数について、数次に渡り、職員配置状況に関する調査報告を受けた。 ・令和5年12月28日付で公表された第三者委員会による調査報告書及び法人としての原因分析や改善策を受けて、区の学童保育室現場における再発防止の具体策について報告を求めている。
	<p>【未実施】 (理由も記載)</p>	